

詳しくは、下記のホームページを参照してください。

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/kojin/>
(内閣府国民生活局)

<http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/kenkyu.htm>
(総務省行政管理局)

http://www.maff.go.jp/densiseifu/kojin_joho.html
(農林水産省)

麩農林水産技術会議会長が生研センターを視察

技術情報室

平成17年4月8日の午後、麩会長が埼玉県さいたま市に所在する（独）農業・生物系特定産業技術研究機構（機構）の生物系特定産業技術研究支援センター（生研センター）を視察されました。到着後、機構の海野副理事長、大森理事、角監事らの出迎えを受け、海野副理事長から、生研センターの業務について、概要説明を受けました。続いて、津賀生研センター所長から、最近の研究成果や農業機械等緊急開発事業（緊プロ事業）による農業機械の開発・普及状況について概要説明を受け、これまでに44機種が開発され、合計で約7万台が普及していること等の紹介を受けました。

その後、所内各部を視察されて、基礎技術研究部では耕うんロボット、ウリ科野菜接ぎ木ロボット等、生産システム研究部では、GPSや携帯型作物生育測定装置等を活用した日本型水稻精密農業生産システム等、園芸工学研究部では、イチゴとトマトの果菜収穫ロボット等、畜産工学研究部では、細断型ロールペーラや搾乳ユニット自動搬送等の開発状況を視察されました。さらに評価試験部では、トラクター

のけん引性能試験装置、安全キャブフレームの強度試験装置、新たに導入された排出ガスの計測装置などについて、現場の担当者から説明を受けました。会長はいずれも興味深く聞かれ、例えば果菜類の収穫ロボットについては、果実の認識メカニズムや保持方法等について詳細な質問をされ、若手の研究員を激励しておられました。最後に、会長から、担い手問題等を背景にロボット化など先端技術を活用した農業機械化促進業務への期待が表明され、視察を終えました。



搾乳ユニット自動搬送装置の視察



トマト収穫ロボットの作業状況を視察する麩会長

海外調査報告

－オセアニアにおける農業系研究者の人材マネジメントのあり方に関する動向調査－

研究開発企画官室：溝淵研究調査官

研究調査官による海外調査として、2月16日から24日に、①オーストラリア科学・産業研究機構 (Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization) ニュージーランドの②牧畜農業研究所 (AgResearch Ltd)、③園芸食糧研究所本部 (HortResearch Ltd)、④リンカーン大学の2ヶ国4つの研究機関・大学を訪問し、農業系研究者の人材マネジメントのあり方に関する調査を行った。



ニュージーランドのリンカーンにある牧畜農業研究所

オーストラリア科学・産業研究機構では、コミュニケーターと呼ばれる広報の専門職員を配置して広報活動を活発に行っており、一般市民の研究機関への理解と研究職員による学生の指導等を通じて、優秀な人材を確保しているとのことだった。

ニュージーランドでは、各研究所の研究予算は競争的資金と民間からの資金がほとんどであり、ビジネスマネージャーが研究成果の商品化等を推進していると聞かされたが、まだ実際には試行錯誤のようであった。民間企業とどのように連携していくかが、研究員の評価においても重要視されているようであった。職員の定年は定められていないが、ニュージーランドの充実した年金制度により65歳を過ぎても働く人はほとんどいないそうである。また、転勤を好まないお国柄なのか、転居を伴う異動はパーマネントの職を得てからは少ないそうであった。今回訪問したオーストラリアとニュージーランドの女性研究員の比率は約20～30%であり、日本の独法研究機関よりやや多いように感じられた。最後に本調査にあたって、ご協力を頂きました関係の皆様へ心より感謝いたします。

技術会議審議概要

平成17年度第1回農林水産技術会議の概要

- 日 時 平成17年4月15日(金) 15:30～17:00
- 場 所 農林水産技術会議委員室
- 出席者 齋会長、佐々木委員、榊委員、貝沼委員
西川事務局長、宮崎研究総務官、丸山研究総務官、飯田総務課長 ほか
- 議 題 (1) 生物多様性影響評価検討会及び拡散防止措置確認会議の開催概要について
(2) 平成17年度の研究開発レポートの発刊計画について
(3) 農林水産技術会議50周年関係の取組について

(4) 平成18年度の農林水産研究開発の重点事項について

(5) 競争的研究資金事業の新規採択課題と平成16年度評価結果について

- 配布資料 資料1 生物多様性影響評価検討会及び拡散防止措置確認会議の開催概要について
(平成17年1～3月分)
- 資料2 「農林水産研究開発レポート」平成17年度発刊計画について (案)
- 資料3 農林水産技術会議50周年記念の取組み (案)
- 資料4 平成18年度の農林水産研究開発の重点事項について (案)
- 資料5-1 民間結集型アグリビジネス創出技術開発事業
平成17年度新規課題の採択と平成16年度実施課題の評価について
- 資料5-2 平成17年度の先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の採択候補課題の
選定について

議事概要

(1) 生物多様性影響評価検討会及び拡散防止措置確認会議の開催概要について

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律に基づき、平成17年1月から3月までに開催された生物多様性影響評価検討会及び拡散防止措置確認会議の開催概要が報告された。

(2) 平成17年度の研究開発レポートの発刊計画について

平成17年度の農林水産研究開発レポート第1号のテーマを「土壌特性に対応した高品質大豆栽培」とすることが決定された。

(3) 農林水産技術会議50周年関係の取組について

農林水産技術会議が平成18年に満50年を迎えることから、この間の研究行政の実績等を取りまとめて今後の施策の展開に資するため、農林水産技術会議50年誌の作成及び関係行事の開催を検討することが決定された。

【主な意見等】

- 農林水産に係る研究開発及びそれに関わる研究組織も、前回の30周年以降、特にこの10年の間に大きく変わっており、その間の記録をまとめ、今後の施策の展開に役立てることは非常に重要である。

(4) 平成18年度の農林水産研究開発の重点事項について

農林水産研究基本計画に掲げた農林水産研究の重点目標の達成に向けた平成18年度の研究開発の重点事項について審議された。

【主な意見等】

- 重点事項については、大型でインパクトのあるテーマにまとめて打ち出していくことが必要。その際、事項を単に束ねるだけにならないように核となるテーマを決め、異分野も取り込んだ枠組みとなるように工夫すること。
- 遺伝子組換え農産物等に関する国民との双方向のコミュニケーションについては、研究の企画段階で様々な方面の意見も取り入れながら進めること。

(5) 競争的研究資金事業の新規採択課題と平成16年度評価結果について

民間結集型アグリビジネス創出技術開発事業の平成17年度新規課題の採択と平成16年度実施課題の評価結果及び先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の採択候補課題について、審議され、新規課題が決定された。

【主な意見等】

- 競争的研究資金については、研究課題が多分野にわたり産学官連携が進んできている。今後も、産学官連携の下に研究の発展が図られるよう、十分な予算額の確保が重要である。 ■

Information お知らせ

記者発表

発表年月日	発表事項名	担当課
17. 4. 1	平成17年度(第6回)民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業のご案内について	研究開発企画官室
17. 4. 1	農林水産・食品分野の研究課題への提案等の募集について	技術政策課
17. 4. 12	農林水産省所管の独立行政法人が実施する遺伝子組換え作物の栽培実験について	技術安全課
17. 4. 15	民間結集型アグリビジネス創出技術開発事業における平成17年度新規採択課題の決定について	先端産業技術研究課
17. 4. 19	平成17年度先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の新規採択課題の決定について	地域研究課

今後の予定

年月日	行事名	開催場所	担当課
17. 5. 25	平成17年度第2回農林水産技術会議	農林水産省	総務課

編集後記

今年の一般公開(1頁写真)は、昼頃から雨。参観者数は昨年を若干下回りましたが、それでも一般市民、高校生など大勢の方々で賑わいました。

さて、農林水産技術会議は、この3月30日に、新たな「農林水産研究基本計画」を決定しました(3頁)。本文は農林水産技術会議ホームページ(<http://www.s.affrc.go.jp/docs/kihonkeikaku/top.htm>)に掲載しています。また、基本計画の理念等の概説については本小誌臨時号を刊行予定しています。ご期待ください。

個人情報保護法が、4月1日から全面施行されました(4頁)。官庁では、仕事柄、何気なく個人情報扱っていることが多いわけですので、利用目的等を明確に、念には念を入れた取り扱いが大事になっています。お互いに気をつけましょう。

月刊 技術会議 No.47 平成17年5月1日

編集・発行 農林水産省農林水産技術会議事務局 技術政策課 技術情報室

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3501-9886

e-mail:koho@s.affrc.go.jp

農林水産技術会議事務局ホームページ <http://www.s.affrc.go.jp/>